

令和 7 年度
シラバス

青翔開智高等学校

第 2 学年

もくじ

論理国語	2
古典探究	3
地理探究	4
日本史探究	5
世界史探究	6
公共	7
数学Ⅱ	8
数学B	9
物理	10
生物	11
基礎研究	12
化学基礎(化学選択者)	13
化学基礎(表現国語選択者)	14
化学	15
体育(男女合同)	16
体育(男女別)	17
保健(男女合同)	18
家庭基礎	19
英語コミュニケーションⅡ	20
言葉と表現	21
探究V	22

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	国語	論理国語	2	必修	ホームルーム

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動をとおして、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト・小テストなど	ペーパーテスト・論述・成果物など	振り返りなど
教科書・教材	『論理国語』（筑摩書房）、「論理国語 準拠課題ノート」（筑摩書房）、「読み解くための現代文単語[評論・小説]【改訂版】」（文英堂）、「セレクト漢字検定 5級～2級」（桐原書店）		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス	1	
	単元①「物語るという欲望」	7	ペーパーテスト①
	【知識・技能】言葉イ 学術的な学習の基礎を学ぶために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。		
	【思考・判断・表現】読むア 内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら評論文の要旨を把握する。		
	探究スキルラーニング②「対話的読書」(図書館利用)	8	成果物
	【知識・技能】言語文化ア 新たな考えの構築に資する読書の意義と効用について理解を深める。		
	【思考・判断・表現】読むウ 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章の妥当性を吟味して内容を解釈する。		
	単元②「模倣と「なぞり」	8	ペーパーテスト②＋論述
	【知識・技能】情報イ 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深め使う		
	【思考・判断・表現】読むカ 人間、社会について、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結びつけて、新たな観点から自分の考えを深める。		
2学期	【思考・判断・表現】書くア 実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決める。		
	・問題演習	2	
	単元③「地図の想像力」	7	ペーパーテスト③
	【知識・技能】言葉ア 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。		
	【思考・判断・表現】読むエ 文章の構成や論理の展開、表現の仕方について、書き手の意図との関係において多面的・多角的な視点から評価する。		
	単元④「デジタル化される世界」	6	成果物
	【知識・技能】言葉ウ 文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解を深める。		
	【思考・判断・表現】書くエ 多面的・多角的な視点から自分の考えを見直したり、根拠や論拠の吟味を重ねたりして、主張を明確にする。		
	探究スキルラーニング②「論証」(図書館利用)	6	成果物
	【知識・技能】情報ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。		
3学期	【思考・判断・表現】書くイ 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を揃える。		
	【思考・判断・表現】書くウ 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫する。		
	単元⑤「貧困は自己責任なのか」【読むこと-A】	7	ペーパーテスト④
	【知識・技能】言葉エ 評論文の効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。		
	【思考・判断・表現】読むイ 根拠となる資料との関係を把握し、本文の内容や構成を的確に捉える。		
	・問題演習	4	
	単元⑥「トリアージ社会」	7	ペーパーテスト⑤
	【知識・技能】言葉エ 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深める。		
	【思考・判断・表現】読むオ 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めること。		
	単元⑦「憲法の力を生かすには」	6	成果物
【知識・技能】情報ア 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。			
【思考・判断・表現】読むイ 法令文の機能・特徴を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。			
・問題演習	1		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	国語	古典探究	2	必修	習熟度別

科目の目標	言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めている。	「読むこと」の領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して積極的に他者や社会に関わろうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト、成果物	ノート等の学習の取り組み、振り返り
教科書・教材	「古典探究(古文編)」(筑摩書房)、「古典探究(漢文編)」(筑摩書房)、「古典探究 課題ノート」(筑摩書房)、「読解を大切にする体系古典文法」(数研出版)、「読解を大切にする体系古典文法ワーク」(数研出版)、「みるみる覚える古文単語300+30」(いっすな書店)、「体系漢文」(数研出版)、「体系漢文法演習」(数研出版)		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス	1		
	単元①「宇治拾遺物語」	6	ペーパーテスト	
	【知識・技能】言語文化イ 古典を読むために必要な文語のきまりや語の識別、主語の判別などについて理解を深める。			
	【思考・判断・表現】読むア 世俗説話の特色を踏まえて、構成や展開などを的確に捉える。			
	TSL①「平安の人生ゲーム」 ＊図書館活用	6	成果物	
	【知識・技能】言語文化ア 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深める。			
	【思考・判断・表現】読むキ 関心をもったテーマに関する古典の文章や資料を元に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深める。			
	単元②「故事成語」	6	ペーパーテスト	
	【知識・技能】言語文化イ 漢文を読むために必要な訓読のきまりについて理解を深める。			
	【思考・判断・表現】読むイ 文章の種類を踏まえて、漢文特有の寓意の表現に注意して内容を的確に捉える。			
2学期	単元③「伊勢物語」	7	ペーパーテスト	
	【知識・技能】言葉イ 歌物語の特徴について理解を深める。			
	【思考・判断・表現】読むイ 和歌の修辭に注意して内容を的確に捉える。			
	単元④「史伝」	6	ペーパーテスト	
	【知識・技能】言語文化イ 漢文を読むために必要な訓読のきまりや句法について理解を深める。			
	【思考・判断・表現】読むエ 作品の成立した背景を踏まえて古典を読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察する。			
	単元⑤「平家物語」	7	ペーパーテスト	
	【知識・技能】言葉エ 軍記物語に表れている言葉の響きやリズムなどの表現の特色について理解を深める。			
	【思考・判断・表現】ウ 書き手の意図や登場人物の関係を捉えて内容を解釈する。			
	TSL②「忠度ってどんな人？」	5	成果物	
3学期	【知識・技能】言語文化エ 先人のものの見方、感じ方、考え方に親しみ、自分の価値観を豊かにする読書の意義と効用について理解を深める。			
	【思考・判断・表現】読むク 古典の作品を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりする。			
	単元⑥「思想」	8	ペーパーテスト	
	【知識・技能】言葉ウ 漢文の文章構成や展開の仕方について理解を深める。			
	【思考・判断・表現】読むオ 人の性について、儒家思想の内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりする。			
	復習・演習	4		
	単元⑦「大鏡」	7	ペーパーテスト	
	【知識・技能】言語文化イ 古典を読むために必要な敬語のきまりについて理解を深める。			
	【思考・判断・表現】読むイ 歴史物語の特色を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉える。			
	単元⑧「近体詩」	6	ペーパーテスト	
	【知識・技能】言葉ウ 漢詩の構成や展開の仕方について理解を深める。			
	【思考・判断・表現】読むイ 近体詩の種類を踏まえて、漢詩特有の表現に注意して内容を的確に捉える。			
演習		1		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	地理・歴史	地理探究	2	選択	選択

科目の目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	地理に関わる諸事象に関して、規則性・傾向性を分析し、地域的特色や課題などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用い、様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、「位置や分布」「場所」「人間と自然環境との相互依存関係」「空間的相互依存作用」「地域」の五つの観点に着目して多面的・多角的に考察したうえで、地理的な課題の解決に向けて構想し、それらを基に議論する力を身につける。	地理に関わる諸事象に関して、課題を主体的に追及・解決しようとする態度とともに、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重する態度を身につける。
評価の方法	テスト・成果物など	テスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	二宮書店「地理探究」、二宮書店「詳解現代地図 最新版」、二宮書店「データブック オブ・ザ・ワールド 2025」、二宮書店「地理探究ワークブック」、帝国書院「新詳地理資料COMPLETE 2024」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	1-1-1 地形	10	単元テスト①／成果物／学習の記録
	1-1-2 気候と生態系	6	単元テスト②／成果物／学習の記録
	1-1-3 世界各地の自然と生活	6	
	1-1-4 日本の自然環境と防災 / 1-1-5 地球環境問題	4	成果物／学習の記録
2学期	1-2-1 農林水産業	8	単元テスト③／成果物／学習の記録
	特別授業①「歴史地理学フィールドワーク」(4-2 村落・都市)	2	成果物／学習の記録
	1-2-2 資源・エネルギー	4	単元テスト④／成果物／学習の記録
	1-2-3 工業 / 1-2-4 第3次産業	10	
	特別授業②「SUGATAMIまちづくりワークショップ」(3-1-1 現代世界におけるこれからの日本の国土像)	6	成果物／学習の記録
3学期	1-4-1 人口	4	単元テスト⑤／成果物／学習の記録
	1-4-2 村落・都市	6	単元テスト⑥／成果物／学習の記録
	1-3-1 交通・通信 / 1-3-2 貿易・観光	4	成果物／学習の記録

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	地理・歴史	日本史探究	2	選択	選択

科目の目標	我が国の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付けて総合的に考察させ、我が国の伝統と文化の特色についての認識を深めさせることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたっている。 我が国の歴史の展開についての基本的な事柄を、国際環境と関連付けて総合的に理解し、その知識を身につけている。	我が国の歴史の展開から課題を見出し国際環境と関連づけて多面的、多角的に考察し我が国の文化と伝統の特色についての認識を深め、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	史に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりを踏まえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見い込そうとしている。
評価の方法	テスト・成果物など	テスト・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	山川出版社「詳説日本史探究」、山川出版社「詳説日本史図録」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス	1	
	○日本文化のあけぼの	6	テスト／成果物／学習の記録
	探究スキルラーニング「縄文、弥生の幸せを自分の価値観を基準に考える。」	2	成果物
	○古墳とヤマト政権、律令国家の形成	7	テスト／成果物／学習の記録
	○貴族政治と国風文化	10	成果物
2学期	○中世社会の成立	12	テスト／成果物／学習の記録
	探究スキルラーニング「生成AIを用いて偉人のメンターを作ろう」	4	成果物
	○武家社会の成長	14	テスト／成果物／学習の記録
3学期	○幕藩体制の確立	12	テスト／成果物／学習の記録
	探究スキルラーニング「体制維持に必要な要素とは？」	2	成果物

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	地理・歴史	世界史探究	2	選択	選択

科目の目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、比較や相互の関連、現代世界とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し、効果的に説明し、それらを基に議論する力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価の方法	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察など
教科書・教材	帝国書院「新詳 世界史探究」、帝国書院「最新世界史図説 タペストリー 二十二訂版」、帝国書院「新詳 世界史探究 演習ノート」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	第1部 世界史へのまなざし		
	1章 地球環境から見る人類の歴史	2	
	2章 日常生活から見る世界の歴史	2	
	第2部 諸地域の歴史的特質の形成		
	序章 古代文明の歴史的特質	6	
	1章 東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質	8	ペーパーテスト①
	2章 南アジアと東南アジアの歴史的特質	8	ペーパーテスト②
	探究スキルラーニング「古代ローマと世界帝国」(教科書p.82-83)	2	成果物・発表など
2学期	3章 西アジアと地中海周辺の歴史的特質①	12	ペーパーテスト③
	第3部 諸地域の交流・再編		
	1章 ユーラシア大交流圏の成立	8	ペーパーテスト④
	探究スキルラーニング「旅する世界史」	6	成果物・発表など
3学期	2章 アジア諸地域の成熟とヨーロッパの進出	8	
	3章 主権国家体制の成立と交易の拡大	8	ペーパーテスト⑤
			成果物

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	公民	公共	2	必修	ホームルーム

科目の目標	人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民としての、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。
評価の方法	ペーパーテスト・成果物など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	クラスルームへの投稿・授業中の発言・教師による行動観察など
教科書・教材	教育図書「公共」、第一学習社「最新公共資料集2025」、教育図書「高等学校公民科 公共ワークノート」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	公共の扉「公共と人」	4	
	公共の扉「公共と倫理」	4	ペーパーテスト①
	公共の扉「公共の基本原理」	6	ペーパーテスト②
2学期			
	「とっとり財政プランニング」	4	成果物など
	現代社会の諸課題「法」①	6	
3学期	現代社会の諸課題「法」②	8	ペーパーテスト③
			成果物など
	現代社会の諸課題「政治」	10	ペーパーテスト④
	探究スキルラーニング「国は、何のためにあるのか？」	6	成果物など
	現代社会の諸課題「経済」(前半)	8	ペーパーテスト⑤
			成果物など
4学期			

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	数学	数学Ⅱ	4	必修	選択

科目の目標	(1) いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。 (3) 数学の良さを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりするための技能を身に付ける。	日常の事象や社会の事象などを数学的に捉えて問題解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりできるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことについて、全体を通して質的な向上を目指す。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・探究スキルラーニング成果物	授業態度・自己の振り返り・出席率
教科書・教材	数研出版「数学Ⅱ」、数研出版「新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B＋C」		

年間学習計画				
学期	学習内容		時数	主な評価方法
1学期	図形と方程式		12	
				単元テスト①
	三角関数		20	
				単元テスト②
	指数関数・対数関数		20	
	探究スキルラーニング			成果物
2学期	微分法		20	単元テスト③
				単元テスト④
	積分法		20	
				単元テスト⑤
	進路に応じた演習		20	
				単元テスト⑥
3学期	進路に応じた演習		28	
				単元テスト⑦

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	数学	数学B	2	必修	選択

科目の目標 (1)数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2)離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。 (3)数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。			
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	数列・統計的な推測における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し，知識を身につけている。事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりするための技能を身につける。	数列では，離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察できるようにする。統計的な推測では，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察できるようにする。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養うことについて，全体を通して質的な向上を目指す。
評価の方法	ペーパーテスト	ペーパーテスト・探究スキルラーニング成果物	授業態度・自己の振り返り・出席率
教科書・教材	数研出版「数学B」，数研出版「新課程 チャート式 解法と演習 数学Ⅱ＋B＋C」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	数列	26		
			単元テスト①	
2学期	確率分布と統計的な推測	15		
	探究スキルラーニング		成果物	
			単元テスト②	
	進路に応じた演習	15		
			単元テスト③	
3学期	進路に応じた演習	14		
			単元テスト④	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	理科	物理	2	選択	選択

科目の目標	- 日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動と様々なエネルギーへの関心を高めること。 - 目的意識をもって観察、実験などを行い、物理学的に探究する能力と態度を育てること。 - 物理学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養うこと。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	- 自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。 - 観測・実験を行い、基本操作を習得している。 - それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。	- 自然の事物・現象の中に問題を見いだしている。 - 探究する過程を通して、事象を物理的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	- 自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究している。 - 科学的態度を身に付けている。
評価の方法	ペーパーテスト・実験レポートなど	実験レポート・TSL成果物など	行動観察・自己評価/相互評価等における記載 など
教科書・教材	啓林館「物理」、数研出版「改訂版 リードα 物理基礎・物理」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	物理概論:『Gravity ～重力加速度を測定する～』 第1部 様々な運動 第1章 物体の運動とつり合い 第1節 平面内の運動 第2節 放物運動 TSL『Monkey Hunting ～物理法則を数式で記述～』	10	【知】単元テスト 【思】【主】実験レポート 【思】TSL成果物 【主】学習の振り返り
	第3節 剛体のつり合い TSL『Balance Art ～物理法則を図で記述～』	8	【思】【主】実験レポート 【思】TSL成果物 【知】単元テスト 【主】学習の振り返り
	第2章 運動量と力積 第1節 運動量の保存 【実験】物体の分裂における運動量保存の法則	8	【知】【思】【主】実験レポート 【知】【思】TSL成果物 【主】学習の振り返り
2学期	第2節 反発係数 【実験】反発係数の測定 TSL『Crushable Zone ～構造体の性能を物理法則で記述～』	6	【知】【思】【主】実験レポート 【知】【思】TSL成果物 【主】学習の振り返り
	第1部 第3章 円運動と単振動 TSL『orbital period ～宇宙の法則を定数で記述～』 第1節 円運動 【実験】向心力と角速度&半径と各速度の量的関係 第2節 慣性力と遠心力 第3節 単振動 【実験】単振り子の当時性 第4章 万有引力 第1節 万有引力 【実験】ケプラーの第三法則を検証する	16	【知】単元テスト 【思】TSL成果物 【主】学習の振り返り 【思】【主】実験レポート
	第1部 第5章 気体分子の運動 第1節 気体の状態方程式 第2節 気体分子の熱運動 第3節 熱力学第1法則	8	【知】単元テスト 【思】【主】実験レポート 【主】学習の振り返り
3学期	第1部 第5章 気体分子の運動 第4節 気体の状態変化と熱・仕事	2	【知】単元テスト
	第2部 波動 第1章 波の性質 第1節 波の伝わり方 第2節 波の干渉と回折 第3節 波の反射と屈折	4	
	第2部 第2章 音の性質 第1節 音波 第2節 ドップラー効果	8	【知】単元テスト 【思】【主】実験レポート 【主】学習の振り返り

--	--	--	--

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	理科	生物	2	選択	選択

科目の目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1)生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2)観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3)生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解している。 ・科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	・生物や生物現象から問題を見いだしている。 ・見通しをもって観察、実験などを行なっている。 ・得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	・生物や生物現象に主体的に関わりを持とうとしている。 ・見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	実験レポートの記述・TSLの振り返り・ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	啓林館「高等学校 生物」、数研出版「改訂版 リードα生物基礎＋生物」、数研出版「改訂版 フォトサイエンス生物図録」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	第1部 生物の進化 第1章 生物の進化 第1節 生命の起源 第2節 生物界の変遷と地球環境の変化 第2章 有性生殖と遺伝的多様性 第1節 有性生殖 第2節 遺伝子の多様な組み合わせ 第3章 進化のしくみ 第1節 突然変異と進化 第2節 進化の要因	12	授業への取り組み レポート① ペーパーテスト①(第1章～第3章)
	TSL「ミクロな視点・マクロな視点」	4	授業への取り組み・成果物
	第1部 生物の進化 第4章 生物の系統 第1節 生物の分類と系統 第2節 3ドメイン説 第3節 細菌(バクテリア)ドメイン 第4節 アーキア(古細菌)ドメイン 第5節 真核生物ドメイン 第6節 人類の起源と進化	10	授業への取り組み ペーパーテスト②(第4章)
2学期	第2部 生命現象と物質 第5章 生命と物質 第1節 物質と細胞 第2節 生命現象とタンパク質 第6章 代謝 第1節 代謝とエネルギー 第2節 呼吸 第3節 光合成	12	授業への取り組み ペーパーテスト③(第5章～第6章)
	TSL「代謝に関わる要素について」	4	授業への取り組み・成果物
	第3部 遺伝情報の発現と発生 第7章 遺伝現象と物質 第1節 遺伝情報の複製 第2節 遺伝子の発現 第3節 遺伝子の発現調節 第8章 発生と遺伝子の発現 第1節 動物の配偶子形成と受精 第2節 初期発生の過程 第3節 発生と遺伝子の発現	12	授業への取り組み レポート② ペーパーテスト④(第7章～第8章)
3学期	第3部 遺伝情報の発現と発生 第9章 バイオテクノロジー 第1節 遺伝子を扱った技術	6	授業への取り組み レポート③
	第4部 生物の環境応答 第10章 刺激の受容と反応 第1節 刺激の受容 第2節 神経 第3節 神経系 第4節 効果器	10	授業への取り組み ペーパーテスト⑤(第9章～第10章)

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	理科	基礎研究	2	選択	選択

科目の目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
評価の方法	小テスト(知識確認)・実技(観察・実験・作図など)など	レポート・発表・作品物など	授業の振り返り記入・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	改訂版 リード Light 化学基礎(数研出版)、KEIRINKANDXシリーズ 生物基礎セット(啓林館)、オリジナルテキスト		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	ガイダンス	1	授業への取り組み 成果物 授業の振り返り等	
	これであなたも研究者！-RNAの先端技術を学びながら、データの見方や調べ方を体験しよう-	2		
	発表資料の作成・発表・振り返り	5		
	問題演習(生物基礎・化学基礎)	2	授業への取り組み	
	導入 皮膚の化学-化粧品皮膚科学の基本と実践- 健康科学-人生100年時代、老いなき世界を実現するライフサイエンス-	3	授業への取り組み 成果物 授業の振り返り等	
	発表資料の作成・発表・振り返り	4		
	問題演習(生物基礎・化学基礎)	2	授業への取り組み	
	導入・泡の秘密-「キレイ」をつくる泡の力を学ぼう-	3	授業への取り組み 成果物 授業の振り返り等	
	発表資料の作成・発表・振り返り	4		
2学期	導入 歯磨剤と歯ブラシの科学-むし歯予防に効果的な「はみがき」を身につけよう-	3	授業への取り組み 成果物 授業の振り返り等	
	発表資料の作成・発表・振り返り	5		
	問題演習(生物基礎・化学基礎)	2	授業への取り組み	
	導入 炭酸ってどんな効果があるの？-湯船入浴の大切さと共に考えてみよう-	3	授業への取り組み 成果物 授業の振り返り等	
	発表資料の作成・発表・振り返り	5		
	問題演習(生物基礎・化学基礎)	2	授業への取り組み	
	導入 心の健康は「レジリエンス」にあり？-心と身体の関係を通した自己理解-	3	授業への取り組み 成果物 授業の振り返り等	
	発表資料の作成・発表・振り返り	5		
	問題演習(生物基礎・化学基礎)	2	授業への取り組み	
3学期	問題演習(生物基礎・化学基礎)	14		

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	理科	化学基礎(化学選択者)	2	選択	選択

科目の目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を化学的に探究するために必要な資質・能力を次の通り育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	実験レポートの記述・TSLの振り返り・ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	高等学校 化学(第一学習社)、改訂版 リード α 化学基礎 + 化学(数研出版)、オリジナルテキスト		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	序章 化学と人間生活	2	授業への取り組み
	第1章 物質の構成 第1節 物質の成分と構成元素 ①物質の成分 ②物質の構成元素 ③状態変化と熱運動 第2節 原子の構造と元素の周期表 ①原子の構造 ②イオン ③元素の相互関係	8	授業への取り組み レポート①
	化学履修中 「第1章 物質の状態_第3節 固体の構造」		ペーパーテスト① (第1章・第1章 第3節)
	TSL「胃薬を飲むとどれだけゲップが出るか？」	5	授業への取り組み 成果物
	第2章 物質の変化 第1節 物質量と化学反応式 ①原子量・分子量と式量 ②物質量 ③溶解と濃度 ④化学変化と化学反応式 ⑤化学反応の量的関係 ⑥化学変化における諸法則	16	授業への取り組み ペーパーテスト②(第2章 第1節)
2学期	第2章 物質の変化 第2節 酸と塩基の反応 ①酸と塩基 ②水素イオン濃度 ③中和と塩 ④中和滴定	16	授業への取り組み
	第2章 物質の変化 第3節 酸化還元反応 ①酸化と還元 ②酸化剤と還元剤の反応 ③酸化還元の量的関係 ④金属のイオン化傾向	16	授業への取り組み ペーパーテスト③ (第2章 第2`3節・第Ⅱ章)
	化学履修中 「第Ⅱ章 物質の変化と平衡_第2節 電池・電気分解」		授業への取り組み レポート②
	TSL「食品に含まれるビタミン C は部位によって異なるか？」	5	授業への取り組み 成果物
	終章 化学が拓く世界 ①水道水について ②食品の保存について ③洗剤について ④リサイクルについて	2	授業への取り組み
	化学履修中 「第Ⅰ章 物質の状態_第1節 物質の状態変化」 「第Ⅰ章 物質の状態_第2節 気体の性質」		授業への取り組み レポート③ ペーパーテスト④ (第Ⅱ章 第2節・第Ⅰ章 第1・2節)
3学期	化学履修中 「第Ⅰ章 物質の状態_第4節 溶液の性質」		授業への取り組み ペーパーテスト⑤ (第Ⅰ章 第2節・第Ⅰ章 第4節)
	化学履修中 「第Ⅱ章 物質の変化と平衡_第1節 化学反応と熱・光」		授業への取り組み
	化学履修中 「第Ⅱ章 物質の変化と平衡_第3節 化学反応の速さ・第4節 化学平衡・第5節 電離平衡」		授業への取り組み ペーパーテスト⑥ (第Ⅱ章 第1節・第Ⅱ章 第3`5節)

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	理科	化学基礎(表現国語選択者)	2	選択	選択

科目の目標	物質とその変化に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、物質とその変化を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	・日常生活や社会を支える物質の利用とその製造の例を通して、化学に対する興味・関心を高めること。 ・日常生活や社会において物質が適切に使用されている例を通して、化学が果たしている役割を理解すること。	・化学的な事物・現象の中に問題を見い出している。 ・探究する過程を通して、事象を化学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	・化学や化学現象に主体的に関わりを持とうとしている。 ・見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技(観察・実験・作図など)など	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	高等学校 化学基礎 (第一学習社)、改訂版 リードLight 化学基礎 (数研出版)		

年間学習計画				
学期	学習内容		時数	主な評価方法
1学期	第1部 物質の構成 第1章 物質の構成 ① 純物質と混合物 ② 物質とその成分 ③ 粒子の熱運動と物質の三態		10	【知】単元テスト① 【思】【主】実験レポート① 授業への取り組み
	第1部 物質の構成粒子 第2章 ① 原子の構造と電子配置 ② イオン ③ 元素の周期表 探究SL「エレメントボーカー」		10	【知】単元テスト② 【思】TSL成果物 授業への取り組み
	第1部 化学結合 第3章 ① イオン結合 ② 共有結合		6	授業への取り組み
2学期	第1部 化学結合 第3章 ③ 金属結合 ④ 物質の分類と融点		6	【知】単元テスト③ 授業への取り組み
	第2部 物質の変化 第1章 物質量と化学反応式 ① 原子量・分子量・式量 ② 物質量(mol) ③ 化学反応式と化学変化の量的関係		10	【知】単元テスト④ 【思】【主】実験レポート② 授業への取り組み
	探究SL「科学史で発見」		4	【思】TSL成果物 授業への取り組み
	第2部 酸と塩基 第2章 ① 酸と塩基 ② 水の電離とpH ③ 酸・塩基の中和と塩		10	【知】単元テスト⑤ 【思】【主】実験レポート③ 授業への取り組み
3学期	第2部 酸化還元反応 第3章 ① 酸化と還元 ② 酸化剤と還元剤 ③ 金属の酸化還元反応 ④ 酸化還元反応と人間生活		10	【知】単元テスト⑥ 【思】【主】実験レポート④ 授業への取り組み
	年間まとめ		4	授業への取り組み

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	体育・保健	体育(男女合同)	1	必修	学年

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	大修館書店「アクティブスポーツ」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	【球技1】ネット型「バレーボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(パス、サーブ、アタック、攻撃と守備の原則の理解)	9	・実技テスト ・授業態度
		4	
2学期	【球技2/体育理論】ベースボール型「ソフトボール」 ・基本的技能の習得とゲーム(打撃、捕球、送球などの用具操作、走者と連携した打撃による攻撃とその守備)	5	・実技テスト ・授業態度
	【球技3】ネット型「バドミントン」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・ストロークの理解、サービス、ラリーの組み立て)	9	単元テスト③ ・授業態度
		1	
3学期	【球技4】ネット型「卓球」 ・基本的技能の習得とゲーム(グリップ・スイングと構え、サービス、ラリーの組み立て)	7	・実技テスト ・授業態度

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	体育・保健	体育(男女別)	1	必修	男女別

科目の目標	体育や保健の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力の育成を目指す。また、集団でのゲームなどを通して、粘り強くやり遂げる・ルールを守る・集団に参加し協力するといった態度を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	運動の合理的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践するための理論について理解しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身につけている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評価の方法	ペーパーテスト・実技テスト等	ペーパーテスト・実技テスト レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	大修館書店「最新中学保健体育」、大修館書店「中学保健体育ノート」、あかつき教育図書株式会社「図解中学体育」		

年間学習計画					
学期	学習内容		時数	主な評価方法	
	男子	女子		男子	女子
1学期	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	オリエンテーション 体づくり運動 新体力テスト	5	・新体力テスト結果等	・新体力テスト結果等
	【球技1/体育理論】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム （パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解	【球技2】ゴール型「サッカー」 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。	8	・単元テスト① ・実技テスト ・授業態度	・単元テスト① ・実技テスト ・授業態度
2学期			2		
	【球技2】ゴール型「サッカー」 ・安定したボール操作と空間を作り出すなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防を展開できるようにする。	【球技1/体育理論】ゴール型「ハンドボール」 ・基本的技能の習得とゲーム （パスキャッチ、シュート、攻撃と守備の原則の理解	10	・単元テスト② ・実技テスト ・授業態度	・単元テスト② ・実技テスト ・授業態度
3学期			3		
	【選択】 ○「ダンス」 ・現代的なリズムのダンス ○「器械運動」 ・マット、跳び箱	【選択】 ○「ダンス」 ・現代的なリズムのダンス ○「器械運動」 ・マット、跳び箱	7	・発表会 ・授業態度	・発表会 ・授業態度

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	体育・保健	保健(男女合同)	1	必修	ホームルーム

科目の目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりとその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる技能を身につける。	健康に関わる事象や健康情報などから自他や社会の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができる。	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在および将来の生活を健康で活気に満ちた明るく豊かなものにすることを目指す。
評価の方法	ペーパーテスト・レポート	ペーパーテスト・レポート・発表等	授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等
教科書・教材	大修館書店「現代高等保健体育」、大修館書店「現代高等保健体育ノート」		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	大気汚染と健康、水質汚濁、土壌汚染と健康	2	単元テスト① ・ノート
	医薬品の制度とその活用、医療サービスとその活用	3	・単元テスト② ・ノート
	探究スキルラーニング「食品の安全を守る活動」3時間 ・食品の区分けと広告のつながりについてスライド作成	3	・ノート ・スライド作成
	保健サービスとその活用、さまざまな保健活動や対策、健康に関する環境づくりと社会参加	3	・単元テスト③ ・ノート
	思春期と健康	2	・単元テスト④ ・ノート
2学期		1	
	性への関心・欲求と性行動	2	・単元テスト⑤ ・ノート
	妊娠・出産と健康、避妊法と人工妊娠中絶	2	・単元テスト⑥ ・ノート
	環境汚染を防ぐ取り組み 探究スキルラーニング「中高年期と健康」6時間 ・高齢者に向けたストレッチ動画の作成	8	・ノート ・動画の作成
	結婚生活と健康	2	・単元テスト⑦ ・ノート
3学期	ごみの処理と上下水道の整備	4	・単元テスト⑧ ・ノート
	働くことと健康、働く人の健康づくり	3	・ノート

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	外国語	英語コミュニケーションⅡ	4	必修	習熟度別

科目の目標	英語を通じて言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。 また、英語の背景にある文化に理解を深め、世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する資質を身に付ける。さらに英語の学習を通して、他者を配慮し受け入れる寛容の精神や平和・国際貢献などの精神を獲得し、多面的思考ができるような人材を育てる。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	英語の語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めている。 これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細を話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者を配慮しながらコミュニケーションを図ろうとし、自らの学習を調整し、主体的に学びに向かおうとしている。
評価の方法	単元テスト	単元テスト 探究スキルラーニングにおける成果物	各活動におけるリフレクション 提出物など
教科書・教材	ケンブリッジ大学出版局「CAMBRIDGE EXPERIENCE 2」、ケンブリッジ大学出版局「CAMBRIDGE EXPERIENCE 2 workbook」、桐原書店「新解説 英文法[強化]演習 Power Frame 850」		

年間学習計画				
学期	学習内容	時数	主な評価方法	
1学期	オリエンテーション	1		
	Power Frame: 時制・態・助動詞	7	単元テスト①	
	探究スキルラーニング「What is your question?」	4	成果物（ワークシート）	
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 1 Friendship	4	自己調整プリント	
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 2 Migration	9	単元テスト②	
	Power Frame: 不定詞・動名詞	9	単元テスト③	
	探究スキルラーニング「Research on Online Streaming」	5	成果物（ワークシート）	
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 3 Entertainment	5	自己調整プリント	
	Power Frame: イディオム（動詞・形容詞・副詞）	8	単元テスト④	
2学期	Power Frame: 分詞・接続詞・代名詞	10	単元テスト⑤	
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 10 In The News	3	自己調整プリント	
	探究スキルラーニング「何を見つけた、何を感じた課題研究」	6	成果物（ワークシート）	
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 4 Sports	6	単元テスト⑥	
	Power Frame: 仮定法・関係詞	7	単元テスト⑦	
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 5 Crime	7	自己調整プリント	
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 6 Freak Weather	6	単元テスト⑧	
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 8 Our society	7	自己調整プリント	
	Power Frame: イディオム（名詞）・前置詞と群前置詞	8	単元テスト⑨	
3学期	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 7 Health of a Nation	3	自己調整プリント	
	探究スキルラーニング「What is your strength?」	7	成果物（スピーチ）	
	Power Frame: 比較・疑問と否定	6	単元テスト⑩	
	CAMBRIDGE EXPERIENCE 2:Unit 9 Pure Genius!	6	単元テスト⑪	
	Power Frame: 動詞の語法・形容詞と副詞の語法・名詞と冠詞の語法・その他の文法事項	6	単元テスト⑫	

対象学年	教科名	科目名	単位数	履修形態	授業形態
高校2年	人文	言葉と表現	2	必修	選択

科目の目標	言葉に関する理論や観点を理解し、それを元に言葉や言語作品について解釈し、他者に向けて表現することで、言葉や文化を知的に楽しみ、多様な人々に共感する力を養う。		
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	表現の技法、言語間の差異、異文化と他者理解などの理論や観点の理解を深めている。	言語の理論や観点をもとに、言葉や言語作品について解釈を行うことができる。	言葉や文化を知的に楽しみ、多様な人々に共感する力を身につけている。
評価の方法	ペーパーテストなど	ペーパーテスト・論述・レポート・発表・グループ活動・作品の制作など	ノート等の記述・授業中の発言・教師による行動観察・生徒による自己評価/相互評価等の活用など
教科書・教材	なし		

年間学習計画			
学期	学習内容	時数	主な評価方法
1学期	ガイダンス(〇〇の視点で/言語で表現することの意味を考えてみよう)	2	
	【② 言語間の差異】「〇〇ってどう訳す？」	11	単元テスト・成果物
	単語を日英両方から見ていく。認知言語学の知見を知る。		
	【③異文化と他者理解】「エクソフォニー～母語の外に出た作家について考える～」	11	成果物
	エクソフォンな作家たち(自らの母語ではない言語で活動をする作家)を比較し、それぞれの言語と創作についての考えをPodcastにまとめる。		
	夏休み前まとめ	2	
2学期	ガイダンス(言語にまつわる社会的な背景を考えよう)	1	
	【③異文化と他者理解】「やさしい日本語を活用し異文化との出会いを演じる」	8	単元テスト・成果物
	日本に住む外国語話者に向けたやさしい日本語について学び、実際に活用した演劇を演じる。		
	【③異文化と他者理解】「手話を知ろう」	8	単元テスト・成果物
	音声言語ではないが、言語の一つである手話。手話にまつわる社会問題について学ぶ。		
	【③異文化と他者理解】「言語ゲームを作ろう」(学校図書館活用)	9	成果物
	言語をテーマとしたボードゲームを作成し、中学1年生に披露する。		
	【①表現の技法】「レトリックで磨く表現力」	4	単元テスト・成果物(3学期に実施)
	メタファーなどのレトリックを学び、実際の表現に使う。また、認知言語学の知見から、メタファーを見ていく。		
3学期	ガイダンス(言葉で自分の思いを表現しよう)	1	
	【①表現の技法】「レトリックで磨く表現力」	3	単元テスト・成果物
	メタファーなどのレトリックを学び、実際の表現に使う。また、認知言語学の知見から、メタファーを見ていく。		
	【② 言語間の差異】「ラップ文化から紐解く英語と日本語～反骨精神を言葉に乗せて～」	10	単元テスト・成果物
	日英の韻の文化を比較し、音韻的にも心地よい翻訳を考える。		